

多読クラブ会員の皆様へ

書籍追加のお知らせ（2007年11月）

これらの本の表紙を見て何かお気づきではありませんか？そう、ORT の雰囲気が出ていますね。実はこの Wolf Hill シリーズは、文もイラストも ORT と同じ作者なのです。マジックキーは出てきませんが、登場人物の雰囲気も ORT と似ています。レベル 1～5 までありますが、とりあえずは一番下のレベル 1 を 12 冊です。同じ学校仲間のキャラクターたちがずっと出てきます。挿絵は全てカラーで読み上げ音声あり。音声は、あの酒井先生が Oxford 出版に働きかけて、ネット上で無料で聞ける仕組みが構築されました。

●The Flying Armchair YL:1.4 総語数 1100

道端に置き去りにされたアームチェアを見つけた Andy が、まるでスケートボードに乗るようにして遊んでいると、キャストが地面をこする音を聞きつけて友達が集まってきました。そしてみんなで遊んでいるうちに...



●The Hole in the Ground YL:1.4 総語数 1200

Loz のスニーカー (trainer) はぼろぼろ、友達が持っている高い Slix 製をねだるのですが、Nan に断られてしまいます。がっかりした彼女に、Gran が買ってくれました。しかし、困ったことが起きてしまいます... いろんなことが起きて、話が面白いです。



●I Hate Computers! YL:1.4 総語数 1100

授業でグループごとの新聞を作るようになった放課後、帰り道でガソリンが漏れている車があることに気づき通報した Chris は、街のヒーローになります。その出来事を新聞に載せることにしたのですが、コンピュータが苦手な Chris がデータを消してしまい...

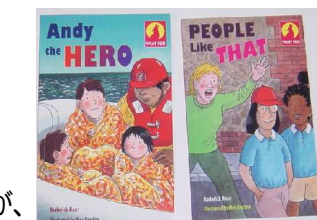


●Hidden Gold YL:1.4 総語数 1100

Loz と友達が Gran のうちにみつけた地下シェルターにカーペットをひこうとして、すばらしいものを見つけます。それをめぐって、ちょっとした事件が起こります。仲間と隠れ家集まる子供たちのわくわくする気持ちがよく書かれています。ずるい大人の存在が話をリアルにしています。

●The Night it Rained Chips YL:1.4 総語数 1100

このタイトルを読んだ時、えっ？「ポテトチップスが降った夜」と思ってしまいました。それに表紙の絵もそんな感じだったし。違いました。でもおもしろいです。



●Toxic Waste YL:1.4 総語数 1100

Andy はママの連れてきた男友達が気に入りません。しぶしぶ釣りに出かけるのですが、川で思わぬ事件を目撃します。

●Andy the Hero YL:1.4 総語数 1100

二人の小さな子供たちが沖に流されかけた時、助けてあげられるのは Andy だけしかいなかったのです。



●People Like That YL:1.4 総語数 1100

学校での小旅行にでかけた Najma たちは、そこで不快な体験をしてしまいます...。いったい何が起きたのでしょうか？

●It Can't Be YL:1.4 総語数 1100

Arjo は Mr. Morgan が自分の家に入るのに窓をよじ登っているのを見てびっくりします。そして Loz は Mr. Morgan が泥棒として捕まるのを見て、もっとびっくりしてしまいます。



●Blaze YL:1.4 総語数 1100

Gizmo がお父さんと小さな犬 (Max) を連れて山に行ったが、その犬はリードを抜けて何処かへ逃げてしまい

ます。Max を探しに草むらに入った Gizmo はとても心地よい場所を見つけました。後に Max は見つかり、その一週間後にみんなでその場所に出かけました。その時に会った、ある動物とのお話です。(dr-patch)

●Fair Scare YL:1.4 総語数 1200

Wolf Hill にお祭りがやってきました。Loz はお祭りに行くことをほとんどあきらめていたものの、思いがけなく Nan の許可が出て、いつもの仲間とイベントを楽しもうとしますが…。

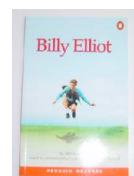
●A Good Tip YL:1.4 総語数 1300

Andy は学校での募金の方法で、あるいいアイデアを思いつきました。でも実際にやってみると。。

PGR(ペンギン)に4冊追加です。わりと最近製作されたものです。

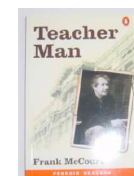
●Billy Elliot (PGR 3) YL:3.3 総語数 13000

イギリスの田舎の炭鉱町にすむ小学生の男の子 Billy Elliot は、他の男の子と違って喧嘩やスポーツがとくいでなかった。ボクシングのクラスに通うが、となりでやっているバレーのクラスにふとしたきっかけででることになる。サッチャー時代の炭坑労働組合と政府の苛烈に戦っていた時代の、涙なしには読めない実話です。(あきお)



●Teacher Man (PGR 4) YL:4.6 総語数 22000

アメリカでは、高校教師は非常に尊敬されない職業とされているらしい。多くの教師が現場から離れて昇進しようとするのに対し、現場にとどまって、” 国語 ” を教え続けたアイルランド人教師の実話。アメリカの高校生の実態と生活の実態の一端がよくわかる傑作。筆者は、その後、大学の教師となり”Angela’s Ash”を書く。(あきお)



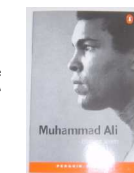
●Pirates of the Caribbean (PGR 2) YL:2.4 総語数 7400

エリザベスはカリブ海の、ある島に住んでいます。とても危険な場所です。ある若い鍛冶屋がエリザベスに興味を持ちますが、海賊たちも同様です。海賊たちはどこから来て、何を欲しがっているのか？船には本当にのろいの力があるのか？なぜ海賊たちは自分たちの金を喜ばないのか？



●Muhammad Ali (PGR 1) YL:1.1 総語数 2500

ボクサーのモハメドアリを紹介した物語。彼がなぜ、ボクシングを始めたのか。また、なぜ、ボクシングを辞めたのか。そして彼は今、何をしているのか？彼の知られざる一面が見えてきます。



お知らせ

英語ニュース小冊子 Catch a Wave は毎月1回、予約いただいた方に無料で配布しています。YL3.0くらいでしょうが、日本のニュースが多く、巻末に単語訳の一覧がついているので、わりと読みやすいです。音声を流しながら読めば約15分で一通り読み終わります。音声はインターネットの <http://catchawave.jp/sound/> で無料ダウンロードできます。i-Tune でポッドキャストに登録すれば、いちいちダウンロードする手間が省けます。



このニュースでお知らせした本は、わりとすぐに借りられることが多く、また2教室で共有していますので、教室の本棚で見つけることが困難です。読んでみたい本はメール(hemmi@e-pal.co.jp)でご依頼いただければ受付にとり置きしますので、お気軽にご連絡ください。